

エコアクション21

環境経営レポート

【対象期間 2021年10月1日～2022年9月30日】



市道0135号線 西原舗装改良工事

作成日11月30日

谷建設株式会社

目 次

- 1、 環境経営方針
- 2、 組織の概要
- 3、 環境経営目標とその実績
- 4、 活動計画及び結果・評価
- 5、 実施体制
- 6、 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
- 7、 代表者による全体評価・指示

1, 環境経営方針

(環境経営理念)

当社は、環境に配慮した「明るく住みやすい未来」の循環型社会の構築に貢献します。

(環境経営方針)

当社は、建設業の事業活動における環境への影響を理解し、環境経営の継続的改善に努めます。

1. 建設（事務）車両・建設機械の燃料節減に取り組みます。
2. 電気・ガス・灯油・水の使用量の節減に取り組みます。
3. 産業・一般廃棄物の分別、リサイクルを推進し、減量化に取り組みます。
4. 事務用品のグリーン購入を促進します。
5. 環境関連法規などを遵守します。
6. 当社の環境方針・環境目標を全従業員及び協力会社に周知するとともに、環境活動を行い、これを社内外に公表します。

制定日2010年 2月20日

改定日2019年12月27日

長野県小諸市大字諸272番地 1
谷 建 設 株 式 会 社
代表取締役社長
谷 和 人

2, 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

事業所名
代表取締役社長

谷建設株式会社
谷 和人

2) 所在地

〒384-0043
本社：長野県小諸市大字諸272番地1
倉庫：長野県小諸市大字菱平2566番地3

3) 環境管理の責任者及び担当者

環境管理責任者
担当者
連絡先

坂口 芳隆
竹花 圭司
TEL 0267-22-2052
FAX 0267-22-3472
H P <https://www.taniken-komoro.com>
E-mail:valley21@ctknet.ne.jp

4) 事業内容

建設業（土木、とび・土工、石工、舗装、
しゅんせつ、水道施設、管工事業、解体工事業）

長野県知事 許可（特一29） 第 14595 号

産業廃棄物収集運搬業許可
許可番号 2000082849

許可年月日：令和4年5月14日

有効年月日：令和9年5月13日

産業廃棄物の種類 がれき類
運搬車両 ダンプ5台

5) 事業規模

規模	単位	2020年	2021年	2022年
売上高	百万円	230	230	192
従業員	人	13	13	12
床面積 事務所	m ²	140	140	140

6) 認証・登録の対象組織・活動

全組織・全活動

3、環境経営目標とその実績

1) 環境経営目標とその実績

基準値は2019年度のデータとします。

次年度以降の基準値は2020年度～2022年度の3年間の平均値とします。

項 目	基準値	今年度の目標・実績・達成状況			次年度以降 基準値	2023年度 の目標	2024年度 の目標	2025年度 の目標
		目標値	実績	達成状況		目標値	目標値	目標値
CO2の削減 (kg-CO2)	82,912	基準値3%削減 80,425	14%増加 91,990	判定 ×	100,413	基準値1%削減 99,409	基準値2%削減 98,405	基準値3%削減 97,401
電気 (kw/h)	6,000	基準値3%削減 5,820	1%増加 5,850	判定 ×	6,077	基準値1%削減 6,016	基準値2%削減 5,955	基準値3%削減 5,895
灯油 (ℓ)	2,000	基準値3%削減 1,940	8%削減 1,788	判定 ○	1,660	基準値1%削減 1,643	基準値2%削減 1,627	基準値3%削減 1,610
LPG (kg)	20	基準値3%削減 19.4	10%削減 17.4	判定 ○	19.47	基準値1%削減 19.3	基準値2%削減 19.1	基準値3%削減 18.9
ガソリン (ℓ)	7,500	基準値3%削減 7,275	6%増加 7,693	判定 ×	7,653	基準値1%削減 7,576	基準値2%削減 7,500	基準値3%削減 7,423
軽油 (ℓ)	22,000	基準値3%削減 21,340	20%増加 25,613	判定 ×	28,883	基準値1%削減 28,594	基準値2%削減 28,306	基準値3%削減 28,017
紙 (kg)	80	基準値3%削減 78	8%増加 84	判定 ×	81.33	基準値1%削減 81	基準値2%削減 80	基準値3%削減 79
水道水 (m3)	750	基準値3%削減 728	44%削減 408	判定 ○	480	基準値1%削減 475	基準値2%削減 470	基準値3%削減 466
廃棄物 事務所 (kg)	145	基準値3%削減 141	3%削減 137	判定 ○	140.67	基準値1%削減 139	基準値2%削減 138	基準値3%削減 136
廃棄物 倉庫 (t)	2	基準値3%削減 1.9	32%削減 1.3	判定 ○	0.9	基準値1%削減 0.89	基準値2%削減 0.88	基準値3%削減 0.87
産業廃棄物のリサイクル率UP	再資源化率 95%以上		99.5%	判定 ○	再資源化率 95%以上			

2) 2019年度～2022年度の実績値

項 目	管理単位	単 位	2019 年度実績	2020 年度実績	2020 年度実績	2022 年度実績
CO2排出量	総排出量	K g -CO2	82,912	74,478	134,775	91,990
電気 19～21は0.472 22は0.433 kg-co2/kWh	総使用量	KW h	6,000	6,144	6,236	5,850
	CO2換算値	K g -CO2	2,832	2,900	2,943	2,533
灯油 2.49 kg-co2/MJ	総使用量	L	2,000	1,852	1,340	1,788
	CO2換算値	K g -CO2	4,980	4,611	3,337	4,452
LPG 3.00 kg-co2/MJ	総使用量	Kg	20.0	18.5	22.5	17.4
	CO2換算値	K g -CO2	60.0	55.5	67.4	52.2
ガソリン 2.32 kg-co2/MJ	総使用量	L	7,500	7,016	8,251	7,693
	CO2換算値	K g -CO2	17,400	16,277	19,142	17,847
軽油 2.62 kg-co2/MJ	総使用量	L	22,000	19,326	41,712	25,613
	CO2換算値	K g -CO2	57,640	50,634	109,285	67,106
紙使用量	総使用量	K g	80	80	80	84
水使用量	総使用量	m3	750	577	455	408
廃棄物（事務所）	総排出量	K g	145	144	141	137
廃棄物（倉庫）	総排出量	t	2.0	0.4	1.0	1.3
産業廃棄物	再資源化率	%	38.1	78.0	80.5	99.5

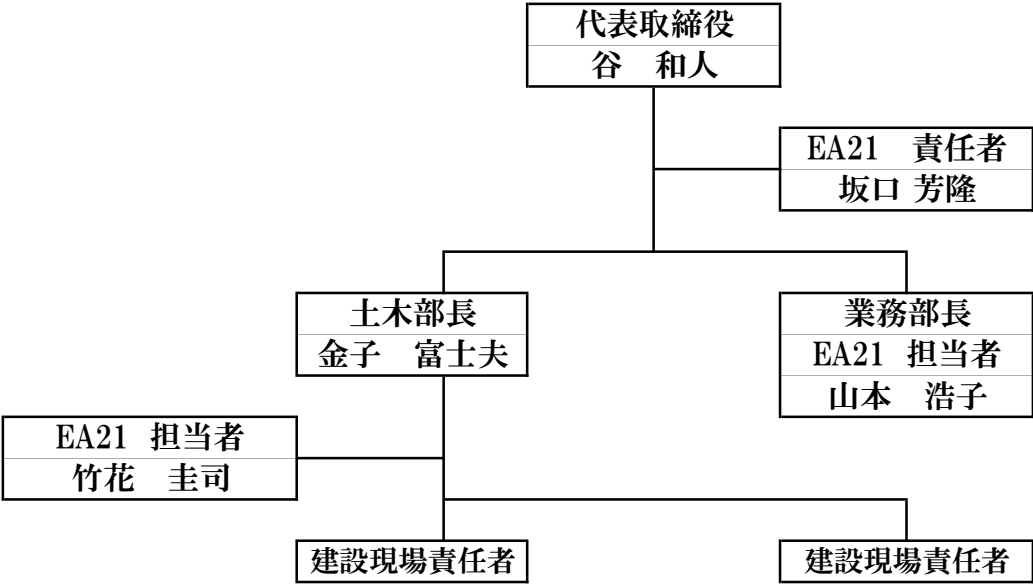
(2019年 中部電力調整後排出係数0.472 Kg-CO2) (2020年 中部電力調整後排出係数0.433 Kg-CO2)

4, 活動計画及び結果・評価 (2021.10～2022.9)

○できた △どちらでもない ×できなかった

目 標	活 動 計 画	評価	取組の結果	次年度の取組	取組部門
電気使用量の削減	昼食時及び不使用部屋の消灯 グリーンカーテンの面積をUPする 事務所内の冷暖房設定を適正化にする (夏季：28℃以上、冬季：25℃以下) 衣類の調整をして室温の管理をする	○ ○ ○ ○	衣類の調整をして室温の管理ができた	事務所の照明をLEDにしていく	全社
LPGの削減	沸騰したらすぐガスコンロのスイッチを切る 給湯機の温度設定を下げる	○ ○	徹底できた	引き続き取組んでいく	全社
ガソリン・軽油・灯油の削減	エコドライブの励行 車の点検・整備、適正なタイヤの空気圧にする 積載オーバーをしない 工事車両、重機等のアイドリングストップの励行 計画的な運搬をする	○ ○ ○ ○ ○	エコドライブを意識した運転が出来ていた	エコドライブを意識した運転の更なる徹底	全社
紙使用量の削減	裏紙の活用 ミスコピーの防止をする	△ ○	裏紙が増えている	印刷前の確認を行いミスコピーを防止する	全社
水使用量の削減	節水に努める 節水表示をし節水に努める	○ ○	現場作業が多く社内での使用量が減ったので削減につながった 効率的な洗車ができた	植物の水くれば川の水を使う	全社
廃棄物発生抑制(事務所・倉庫)及び再資源化率UP(現場)	ごみの分別を徹底し、リサイクルに努める 不要原紙の再利用をする つめかえ可能な商品を購入する 協力会社に過剰な包装をしないよう呼びかける マニフェスト管理の徹底 会議や朝礼で分別・リサイクル向上を促す	○ ○ ○ ○ ○ ○	分別がきちんとされていた	マイボトルを携帯しペットボトルや缶を減らす	全社
グリーン購入の促進	コピー用紙は再生紙の購入を推奨する ファイル等の事務用品はエコマーク商品の購入に努める	× △	コピー機のメーカーが推奨する用紙が安価なので再生紙は購入しなかった	価格を考慮したうえでエコマーク商品を検討していく	全社
リサイクル材使用の推進	再生砕石を使用して施工をする 再生30%材のアスファルト合材を使用して施工をする	○ ○	再生品の使用は徹底できた	引き続き再生品を使用していく	土木部
地域環境への貢献	環境ボランティア活動への参加 女性社員から見た、環境パトロールを実施をする 現場周辺での草刈及び通学路の除雪をする 幹線道路の委託除雪をする 施主へのエコクリーンソイル等環境に配慮した製品の推薦及び施工をする	○ ○ ○ ○ △	各種団体が開催する環境ボランティア活動に参加できた 自社現場周辺の除草作業等、積極的にいった	地域の環境ボランティア活動には積極的に参加する	全社
大型ブロック使用の推奨	お客様に大型ブロックの使用を推奨する 使用量の統計をとる	○ ○	大型ブロックを使用し施工できた	引き続き使用を推奨していく	土木部

5， 実施体制



責任及び権限

代表取締役	・ 環境経営に関する方針を定め、それを誓約する。 ・ 環境への取組の向性を明示し、全社員に周知する。 ・ 環境経営システムの機能、取組を評価見直しする。
EA21責任者 担当者	・ 具体的な環境への取組みに関する環境目標、環境活動計画を社員に周知する。 ・ 各部門責任者に対して必要な計画、指示、指導等を行う。 ・ 活動計画、活動実績を取りまとめ、代表者による見直し資料を作成する。
土木部長	・ EA21責任者の下、必要な計画、指示、指導、教育、訓練を実施する。
業務部長	・ 環境への負荷のデータを集集し、EA21責任者・担当者に提出する。 ・ 作成した資料を保管・管理する。
現場責任者	・ 現場における問題点（クレーム）に対する是正及び予防処置を実施する。
全社員	・ 環境方針、環境目標を規定に定められた活動計画に従い活動に取り組む。

6、 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1) 当社に関する環境関連法規等は、下記の通りです。

法規制等の名称	要 求 事 項	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理及び排出	遵守
建設リサイクル法	分別解体と再資源化等の実施・報告・記録の作成 対象建設工事の届出	遵守
騒音・振動規制法	対象特定建設工事の届出、規制等の遵守	遵守
消防法	軽油・灯油の指定数量保管の届出、基準	遵守
労働安全衛生法	安全衛生責任者、各作業責任者の選任	遵守
フロン排出抑制法	1回/3か月の簡易点検	遵守

(2) 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

現在、環境関連法規遵守状況の確認に於いて 違反・訴訟等はありません。
関係当局からの違反等に関する指摘は、ありません。

7、 代表者による全体評価・指示

エコアクション21の運用を始めて12年余りが経過し、社員にも浸透してきています。

昨今の地球温暖化による異常気象、それによる自然災害の発生は私達に事の重大さを知り、

考えていくよう警鐘を鳴らされていると捉えています。

今年度の目標に対しては電力、ガソリン、軽油の使用が削減できず、結果CO₂の削減に至りませんでした。

遠距離の災害復旧現場で、軽油を多く使用する作業が多かった事と大型重機やダンプを使用することが多かったためでした。受注した工事の作業内容により燃料の使用量には大きな差が生じる生じるため、単純に対前年比で計画的に削減していくことは難しいと感じていますが、環境と経営を結びつけて持続可能な環境社会づくりに貢献していきたいと思っています。

また、新型コロナウイルスの影響でIT化はますます重要かつ必須事項になってきています。

変化する時代の中でオンラインでの講習会や会議へ積極的に参加し、IT化社会へ取り残されることなく活用しチャンスに変えていきたいと思っています。

当社の行っている活動の一つ一つは小さな物かもしれませんが未来に繋がる活動であることを常に念頭におき、今後も社員一丸となって環境活動に取り組んでいきたいと思っています。

谷建設株式会社
代表取締役 谷 和人